

研究概要等

生物学と惑星科学が協力することで、生物が地球とどのように進化してきたのか（地球と生命の共進化）を紐解く。

これまでの成果等

太古代における地球表層の段階的な酸化によって、水中での光スペクトルが緑へ変化し、最初の酸素発生型光合成生物の進化に影響を与える可能性があることを示した。特に、**光アンテナの起源に光を当てる初めての成果**である

(Nature Ecology & Evolution, accepted)。

今後の計画・構想等

地学実験・進化実験・フィールド調査を通して共進化の理解を進めながら、惑星表層の生命活動が惑星の色にどのような変化をもたらすのかを予想し、**新たな生命活動の指標として提案**する。

